

令和7年 第14回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 令和7年11月4日（火）
開会 午前9時30分 閉会 午前10時35分
- 2 場 所 大宮庁舎 4階 第2会議室
- 3 出席委員名 松本明彦 野木三司 関美幸 田村浩章 野木依子
- 4 説明者 教育次長 川村義輝 教育理事 起須周平
教育理事兼総括指導主事 久保有紀 教育総務課長 西村 隆
理事兼学校教育課長 上羽正行 生涯学習課長 松本 優
スポーツ推進室長 下戸裕子 文化財保存活用課長 村田雅之
- 5 書 記 教育総務課主事 松見純花
- 6 議 事
 - (1) 議案第50号 令和6年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
 - (2) 議案第51号 京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
 - (3) 議案第52号 まるっぽ間人か〜にバルに係る後援について
 - (4) 報告第19号 保有個人情報を開示しない旨の決定に係る審査請求の裁決について
 - (5) 議案第53号 しゃってもフェスタ in たんごに係る後援について
- 7 会 議 録 別添のとおり（全21頁）
- 8 会議録署名
別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

令和7年12月10日

教 育 長 松本 明彦

署 名 委 員 田村 浩章

〔招 集 者〕 京丹後市教育委員会教育長 松本明彦

〔被招集者〕 野木三司 関 美幸 田村浩章 野木依子

〔説 明 者〕 教育次長 川村義輝 教育理事 起須周平

教育理事兼総括指導主事 久保有紀 教育総務課長 西村 隆

理事兼学校教育課長 上羽正行 生涯学習課長 松本 優

スポーツ推進室長 下戸裕子 文化財保存活用課長 村田雅之

〔書 記〕 教育総務課主事 松見純花

〈松本明彦教育長〉

ただいまから「令和7年 第14回京丹後市教育委員会定例会」を開催いたします。

皆さん、おはようございます。

教育委員の皆さんには、10月28日、29日と視察研修並びに近畿市町村教育委員会連絡協議会の研修大会への参加、大変御苦労さまでした。

28日の奈良市立若草中学校では、ICTを活用した学びについて視察を行いました。若草中学校では、本市でも学校と繰り返し確認しているように、ICTを使うことを目的とするのではなく、個別最適な学びや協働的な学びなど子ども主体の学びを進めるための効果的な手段としてしっかりと活用されている様子を参観することができました。

印象的だったのは、こんな授業をしたいから、この場面でICTを活用するのだという意識をしっかりと持った多くの先生方がおられること、また本当に子ども主体の学びが実現している授業を進められている教員であるならば、ICTを活用することを特に強く求めている点です。「ICTは手段」がしっかりと浸透していることを強く感じました。

本市も学校現場とより一層共通理解を図りながら、ICTを効果的に活用しながら、子ども主体の学びが広がるよう進めていきたいと思います。

また、29日の近畿市町村教育委員会連絡協議会の研修会では、不登校をテーマに講演と実践発表という形で学ばせていただきました。

先日発表された、昨年度の全国の不登校児童生徒数は、コロナ禍以降の急激な増加には一定歯止めがかかったものの、小中合わせて初めて35万人を超えるなど、まだまだ大きな教育上の課題となっている中、どの機関ともつながっていない児童生徒を少なくしていくために、市町村の教育委員会としてできること、学校としてすべきことなど、今後の参考となる研修になりました。

また、改めて個々に応じた肯定的な評価、ほめることが不登校の未然防止や学校復帰などにも大変有効であることを、自律神経の側面からも説明いただき、強く納得したところで

す。

本日は、「令和6年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について」を含む4議案と報告議案1件の審議を予定しています。どうぞよろしくお願いいたします。

〈松本明彦教育長〉

それでは、令和7年第13回教育委員会（10月定例会）開催後の諸会議、行事等を中心に、教育長報告をさせていただきます。動静表を御覧ください。

10月1日、2日と、来年度4月に適正配置がされます長岡小・いさなご小、並びに、宇川小・丹後小の学校づくり準備協議会が開催されました。各部会からの報告をいただき、順調に、適正配置に向けた取組が進められていることが確認できました。

また2日の日には、長年、丹後町の子どもたちに本を寄贈いただいております田中様に、市長とあわせて感謝状の贈呈を行いました。

4日はEnglish DayとEnglish Campが実施され、私はEnglish Campの午後の部を参観させていただきました。

8日水曜日は府教委へ行かせていただき、今京丹後市が進めている遠隔教育についての説明をさせていただきながら、来年度に向けて、府教委にも御協力いただける点がないかと要望に行かせていただいたところです。

また15日水曜日は、平日開催となって2年目ですかね、市の小学校駅伝競走大会が、はごろも陸上競技場で実施されましたので、参観をさせていただきました。

16日には、南あわじ市教育委員会の教育長含め関係者、さらには小中の校長先生方が本市へ視察に来られました。主に小中一貫教育についての進め方、うちは保幼小中一貫ですが、そうしたことについて大変関心を持っておられましたので御説明をさせていただきました、実際に久美浜学園の取組等も見ていただいたというところです。

17日には、京都府都市教育長協議会が本市を会場として実施されました。先ほど言いました遠隔教育を実施している弥栄中学校で、本市の中学校は全てELSA for Schoolsも取り入れていますので、そうした英語の授業や遠隔教育をどう進めているかについて、府内の都市の教育長に参観いただき、協議事項について検討するという場を持たせていただきました。大変、遠隔教育や英語教育の取組について評価を他の教育長様方からもいただいたところです。

18日土曜は中学校の駅伝競走大会が峰山総合公園で実施されましたので、スターターとして参加をさせていただきました。

23日木曜日は全国市町村教育委員会連合会の常任理事会が、茨城県水戸市で実施されましたので、出席をさせていただきました。

また26日日曜日は、府のPTA研究大会福知山大会が実施されましたので、参加をさせていただきます。

そして28日からは、教育委員会の視察研修、そして、近畿連絡協議会の研修大会、さらには30日からは近畿都市教育長研究大会が津江市で実施されましたので、参加をさせてい

ただいたところでは。

以上で動静表についての御説明をさせていただきましたが、御質問等がございましたらお願いします。

〈全委員〉

なし。

〈松本明彦教育長〉

本日の会議録署名委員の指名をいたします。

田村浩章委員を指名しますのでよろしくお願いいたします。

それでは、お手元の会議次第に沿って議事を進めさせていただきます。

〈松本明彦教育長〉

初めに、議案第50号「令和6年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

〈川村義輝教育次長〉

議案第50号でございます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。また、同条第2項において、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有するものの知見の活用を図るものとするのが規定されているため、大学教授2名の意見を付して、本報告書を作成しています。

目次を御覧ください。構成については、はじめに自己点検・評価について、続いて、教育に関する学識経験者の意見、Ⅰ教育委員会の活動状況、Ⅱ施策評価・進捗管理調書、Ⅲ学校評価学校関係者評価となっております。

「自己点検・評価について」ですが、ここでは、令和6年度の教育活動の振り返りをまとめております。詳細な説明は省略いたしますが、教育振興計画で定める本市が目指す教育の達成に向け、グローバル人材育成などの推進、文化芸術振興や文化財保存活用に関する各種取組など、全ての分野において前に進めることができたと考えているところです。また昨年度は、子ども・子育てに関する施策を総合的、一体的に取り組む体制とするため、教育委員

会から「こども未来課」を分離し、新たに「こども部」を設置しましたが、教育委員会とこども部はじめ関係機関と連携しながら、子育て支援の充実に努めたところです。

教育に関する学識経験者の意見を御覧ください。

まず、4 ページ、京都教育大学の竺沙教授からの御意見です。2 序論の中で、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、さまざまな教育施策が推進され、さらに「京丹後市の新たな教育・人材育成の在り方に関する検討会」の報告書に基づき、将来を見据えた新たな教育・人材育成に向けて、本格的にその取り組みに着手された年度であった、と評価いただいております。

3 主な施策等の成果と課題ですが、まず（1）教育委員の活動の中で、「こども未来課」が市長部局の「こども部」に移行されたことによる連携不足を危惧する教育委員からの発言に着目し、その重要性について御指摘いただきました。総合教育会議においては、いじめ、不登校を取り上げ、子どもの実態に即した丁寧な議論がなされていた、また教育大綱についても京丹後市の今後を展望する大きなビジョンの中で教育のあり方が議論されており有意義な会議であった、と評価いただいております。

次に（2）重点目標に関する活動についてですが、「1）保幼小中一貫教育の推進について」では、学園全体で協議し議論する体制が整えられており、京丹後市全体で様々な事業を組織的に着実に取り組む体制が整備されていると評価。「2）学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上」では、各学校園の取り組みがきちんと説明され、地域や保護者の委員の方々によく理解されており、学校と家庭、地域との協働がより深まったと評価いただいております。

次に「3）確かな学力の育成について」では、教育振興計画の最終年度であったが、残念ながら目標指数の全教科で全国平均を上回ることではできなかったこと。加えて今期の教育振興計画の総括的な評価と分析が点検評価報告書に記載されていないこと。更に学力状況調査の平均を上回るという目標が適切であったかどうかも含めて、子どもたちの学力の状況、学校での授業や指導のあり方について点検、評価し、今後の展開を検討する必要がある、と御指摘をいただきました。

次に「4）社会を生き抜く力の育成について」では、「グローバル人材育成事業」の取組は、外国語教育の充実のみならず、産学連携のもと新たな可能性を創造する S T E A M 教育の推進を図っている点が重要であり、最新の教育を研究し学校教育に取り入れようと取り組んでいる点について高い評価をいただいております。

次に「5）生徒指導体制、教育相談体制の充実について」です。いじめ、不登校の問題は、学校教育、教育行政のあり方にその増加要因を求められるほど単純ではないが、校内フリースクール等学校内外の学びの場を整備し、子どもと様々に向き合いながら今後のあり方をじっくりと考えていくことが求められる、との指摘をいただいております。

4 総括では、教育振興計画の最終年度として、この間の総括的な評価が示されるべきであったと改めて御指摘をいただいております。

最後に、5 総合評価では、新しい教育を創造し、京丹後市を発展させようと刷新された令和 7 年度から 5 年間の教育振興計画の策定により、令和 7 年度以降、この計画にふさわしい新たな点検、評価が実施されることを期待したい、とまとめられています。

次に、6 ページ、京都文教大学の澤教授からの御意見となります。

2 序論の中では、これまで以上に P D C A サイクルを働かせ、社会の変化等に合わせた事業の見直しが求められる、と見解をいただいております。

次に、3 主な施策等の成果と課題ですが、(1) 教育委員会の活動状況の中で、定例会・臨時会が毎年同様の行事ではなく年度ごとに内容の変化がみられると評価いただくとともに、I C T 教育、プログラミング教育に関する視察を行っている点は注目に値すると管内・管外視察についても言及いただいております。時代の先を見据え他の教育委員会が着手していない取組を積極的に行っている、と評価いただいております。

また「K y o t a n g o S e a L a b o」の中高生の参加について、上級生の成果が報告される中で、下級生により情報が伝播し、憧れをもってプログラムへの積極的な参加が促されるサイクルが出来上がりつつあり、市教委が質を落とさず、継続して取り組むことを期待すると述べられています。

次に、(2) 施策評価・進捗管理調書の 7 つの重点目標についてです。

「重点目標 1 就学前の子どもの教育・保育環境の充実」では、待機児童ゼロの継続ができていた点を評価する一方、父親の子育て参画について目標設定されていないことについての課題を御指摘いただきました。

「重点目標 2 確かな学力・生き抜く力の育成」では、自宅でのタブレット使用に係る工夫や課題などについて更なる分析を求めるとともに、児童生徒の声も聴きながら検討していくことの必要性を述べられています。

「重点目標 3 子どもを健やかに育む教育環境」では、児童生徒の安全確保を優先させながらも、中長期的な視野も踏まえ、学校跡施設の利用については市の収入を得られるシステムの検討について述べられています。

「重点目標 4 豊かな人間性・社会性」では、いじめはいけないという意識をもつ児童生徒が非常に多い一方で、意識と行動が乖離する現象は何かを分析・考察する必要性を指摘、また幼少期から人間関係が狭い中で過ごす環境の中で、児童生徒のストレスマネジメントの必要性を御指摘いただきました。

「重点目標 5 生涯にわたる豊かな学びの支援」では、図書館の貸出数が指標となっている点について、デジタル化の時代に本を借りずに閲覧だけで済ませる人も一定数いるため、ニーズ把握と限られた予算内での変革が求められていると御指摘いただきました。

「重点目標 6 歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育む」では、市 H P のデジタルミュージアム、文化財ライブラリーについて、興味を持てるような見せ方の工夫が必要。また「京丹後史博士」事業については、博士認定された人材の活用状況の検証について御指摘いただきました。

「重点目標 7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツの推進」では、中学 2 年生のスポーツテストの結果や成人の週 1 回以上のスポーツ実施率の低さについて、また、施設の集約化や指定管理者制度の導入だけでなく、防災の観点から備品等の管理について御指摘をいただきました。

次に（３）学校評価自己評価ですが、各学園ともPDCAサイクルがしっかり回っていると評価いただく一方で、諸課題に係る原因を解決する要素についてアセスメントの分析・結果に期待したい、と述べられています。

４総括では、自己点検評価について客観的資料が多く、詳細な内容まで網羅されている点を評価いただくとともに、引き続き改善の視点を持ち続けてほしい、とまとめていただいております。

最後に５総合評価では、目標指標は、具体的、測定可能、達成可能、関連性、期限設定の５つの視点が必要で、目標指標を見直す場合は、この視点により柔軟な判断が求められると御指摘いただきました。

なお、次ページ以降の活動状況等の説明は省略させていただきます。

長くなりましたが、よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

〈松本明彦教育長〉

議案第５０号を説明させていただきました。

たくさんの資料ですけれども、２人の外部評価委員の方々の評価の概要について中心적으로お伝えしました。

全体を通しまして、御質問、御意見等がございましたらよろしくお願いします。

〈田村浩章委員〉

自己評価等も含めて、新しい学びの変革事業でありますとか、Kyotango Seala boとか、高い評価を受けているというところが、本当によいなというふうに思います。

先生方の評価のところで、総合教育会議が１回しかされていないと書いてありますが、実際は３回しているのに、先生にその資料が渡っていないのはどうしてかなということと、その評価の総括がないと、ちゃんとやってないんじゃないかというような疑念が持たれるというところがあったんですけれども、総合教育会議で大綱であったり振興計画の反省をし、そしてそこで新たな意見を言い、というところがあったと思うので、先生のところにその資料が行っていないのかなとも思いました。

それとやっぱり基本的な学力をというところの御指摘もありますので、そのところは今後も長期的に考えて取り組んでいくべきかなと思います。

〈松本明彦教育長〉

ありがとうございます。総合教育会議の実施の記録はあるけれども、資料がということなのか、その辺はどうですか。

〈西村隆教育総務課長〉

失礼します。この外部評価に当たって、総合教育会議の実施の状況でございます。

特にこちらから資料として提示をしたということはないんですけれども、ホームページ等確認できるものの中で確認していただきながら、評価を実施していただいたということでございます。

ホームページに上がっていないということにつきましては、先生からも御指摘いただきますので、担当課には早急に上げるよう依頼もさせていただいているところでございます。

〈松本明彦教育長〉

ホームページでの公表もですけれども、重要な会議の資料ですので、この外部評価の方々に、総合教育会議の内容をまとめたものを資料として提供するというのも検討いただけたらと思います。

そのほか、何かございませんでしょうか。

〈野木三司委員〉

私も感想なんです、毎年竺沙先生には細かいところまで読んでいただいていたいて、いろいろ御指摘があるんですが、この中で、こども部が新設されたときの心配事といいますか、それを安達委員だったと思うんですが、ここにありましたように御指摘をされました。私なんかは、教育委員が、部が決められるとか、どういうところに配置されるのかとか、そういうところまで言えないんだろうなと思っていたんですが、そのときは安達委員が心配事を指摘されたので、やっぱりそういうところも気がついて、見ていかなきゃいけないんだなという、私になりちょっと反省したことがあったので、この竺沙先生の御指摘というのは、私に言われているような気がして、非常に刺さったところです。

澤先生においてもいろいろ御指摘いただいております、そのとおりだと思っているんですが、1つ私も同感だったのが、文化財のところで、興味を持てるような見せ方の工夫が必要であるという部分がありました。この前も奈良に行っていていろいろと見てきましたが、行政で展示等をする場合、予算やいろんな制約事の中で提案をしているんですが、これだけ文化財とかいろいろある京丹後市の中で、この工夫っていう部分に非常にこう、展示の仕方というか、例えば生成AIを使ったような展示の仕方とか、もう既にされているのかも分かりませんが、見るたびにフラストレーションが溜まるような感じがします。勝手なことを言って現場の方々には申し訳ないんですが、そういう意味ではこの御指摘っていうのは、今まで感じていたことを一言でおっしゃったなっていう感じがしておりました。ちょっと現場の方には大変失礼な言い方だったと思うんですが、私に考えろと言われてもできないんですけど、提案の仕方っていうのは、興味を引く、引かないっていうものの分岐点になるような感じがしましたので、個人的な感想を述べさせていただきました。

〈松本明彦教育長〉

ありがとうございます。

まず前段のこども部については、その連携をという部分について教育委員の皆さんからも、分離してこども部になるときに御指摘をいただいておりますけれども、例えば、今まで以上に連携を強めるために、毎月しております指導主事会議というのがあるんですけど、そこでのこども部との連携について、久保総括、どういう連携をしているか、時間をどれぐらいとっていただいているかを説明いただけますか。

〈久保有紀教育理事兼総括指導主事〉

今年度からこども部の子育て支援課長とこども未来課長の2人にも出席いただきまして、今どのようなことに取り組んでいるか、保育所・こども園がどのような取組をしているのかということ、各課から報告していただくようにしておりますので、詳しい内容を把握することは、以前と同じようにできているかなと思っております。

また地域担当指導主事、それから幼児教育担当の指導主事もおりますので、そこが現場に足を運んで保育所やこども園の子どもたち、それから先生方の様子ということも、そこで報告を受けていますので、決して切り離されているということではなく、逆に、より詳しいところまで知ることができるような環境ができているかなと思っております。

〈松本明彦教育長〉

しかも、小・中学生の状況、課題や配慮を要する子への支援の在り方というところも各町の指導主事から報告がありますから、幼児期はどうだったかとか、そういうところと連携した話がつながっていくというところもあって、毎月の指導主事会議ではこども部の2人の課長にも全てそういう話も聞いていただくという配慮をしながら進めています。別の部になったから連携が途絶えるということのない配慮をしているところですので、また折に触れて皆さんにもお伝えいただけたらと思います。

後段の文化財の興味の持たせ方について、文化財保存活用課長、考えているところはありますでしょうか。

〈村田雅之文化財保存活用課長〉

今、野木委員から御指摘いただきました市ホームページのデジタルミュージアムとか、文化財ライブラリーは、随分前にこちらが整備したもので、大分手間暇もかかってしているものでありまして、情報量としては非常にいいものが、我々としては載せられているのかなというところであったんですが、澤先生の御意見の中にもやはり工夫というのが大切だということがありますので、これは文化財保存活用課になってからの命題のところもあるんですけ

ども、やはり文化財を親しみやすくするっていうのは以前からも感じているところで、かつ現場の職員非常に頑張ってくれていますけども、そういったところを今一度工夫していきたいなと思っております。ちょっと具体的などころが言えなくて申し訳ありません。

〈松本明彦教育長〉

ありがとうございます。

そのほか何か、委員の皆さんからありませんか。

〈関美幸委員〉

今、こども部との連携の状況を聞かせていただいたきましたが、私はそれを聞くまではどういうふうになってるのかなと思っていましたので、毎月の定例会ではなくても隔月でもいいので、状況等を私たち教育委員も把握しておく必要があると思うので、簡単にでもいいので聞かせていただきたいなという思いがあります。

それから感想というか、全体評価を見させていただいてというあたりでは、竺沙先生の評価で、市が重点的に進めているところについては本当に肯定的に大きく評価をしていただいております、成果も表れていることですので、今後もこれについては継続していく必要があると思います。

全体的に、評価に関わって、今までの評価ではなくて、やっぱり新たな評価を進めていくっていうことが今後必要になってくるかと思います。ここにも検討をとということも書いてありましたので、今年度からの評価についても、視点等もはっきりさせながら評価していく必要があるかと思いました。

各学園や学校・園所、それぞれの評価を見させていただいて、久美中の2枚目の最後のページが、抜けているんじゃないかと思って見ていたんですけど、また確認していただけたらと思います。

それから、丁寧にそれぞれ評価ができているなと感じたことと、学園についてはもう10年を保幼小中一貫教育が経過してきているということもあって、峰山学園では、目指す子ども像や目標等も見直しをされて、新たな保幼小中一貫教育を進めかけておられますので、そのほかの学園についても、10年経っているということで現状も変わっていますので、そういうあたりも評価して次年度につなげていくことが必要かなと思いました。

各学校や園については、公開をされたり、いろいろな情報を発信しておられるという点で、以前に比べると学校の様子がよく分かるというふうに、よい評価をいただいているように感じます。

丹後学や探究的な学びについても地域に知れ渡り、ICTを活用しながら子どもたちが学びを進めているということが、関係者評価の中でも表れているという点については、各校の努力が窺えるのかなというふうに思いました。

園については、保育者の対応とか教育保育に関わる姿勢っていうあたりも、随分頑張っ

取り組んでもらっているというふうに評価をされて、さらにというあたりでは、研修を通して資質向上というふうに書いておられる園所が多かったので、そういうあたりは今後も継続して進めて、幼児教育、就学前の子どもたちの教育保育をどれだけ充実させていくかということが、小中の学力向上にもつながっていくと思いますので、また何かの機会があればそういうあたりも重点的に進めていただくようお願いをしていただきたいなと思いました。以上です。

〈松本明彦教育長〉

抜け落ちている点がもしあれば確認しておいてくださいね。

〈川村義輝教育次長〉

最初の2点ほどなんですけども、こども部との関係につきましては先ほどもありましたけども、昨年度の御指摘も踏まえた中で、最後の行事予定的な報告のものについては資料をつけさせていただくということにしましたし、必要に応じてこども部からも説明とか、教育委員会定例会等でお話をさせていただくことがあれば同席をするというようなことでは考えておりましたが、今の御意見も踏まえまして、またどういったやり方ができるのかということは検討したいと思っております。

もう1点、今年度からの新しい教育振興計画には目標指数とか具体的な数値等はいれていない計画ということになりましたので、その評価をどうしていくかということは、今検討を進めているところですので、また御意見を聞かせていただくこともあろうかと思いますが、来年度までにそういったところを具体的に考えていきたいというふうに思っております。

〈松本明彦教育長〉

今、教育次長からもありましたように、議案や内容によっては、こども部の課長等に来ていただくことも別に問題はないということもありますので、また検討もさせていただきながら、内容をこの教育委員会議の中で直接聞いていただくほうが分かりやすい側面もあろうかと思いますので、検討をさせていただきたいというふうに思います。

多くの点について御指摘いただきましてありがとうございます。

ほかに何かございませんでしょうか。

〈野木三司委員〉

先ほど村田課長からの御説明を聞いて思い出したんですが、歴史・文化の編さんしたすばらしい資料をいただいています。いろいろ文化財の研究をされて、我々に見せていただいているんですが、工夫というのが、まだ興味を持ってない人、これから興味を持ってほしい人た

ちに、いかに提案していくかというような方法も考えるべきかなと思ったときに、以前、文化財とかスポーツを観光として取り入れて、観光とリンクして外に提案していこうというような、そんな動きがあったと思うんです。

ですから、本当に素晴らしい資料を編さんしていただくのも大切なんですが、一般の方々にも広く知っていただくには、観光関係の方々と連携して文化財を発信していくというような、そんな手法ができたかなと思います。ひょっとしたらされているかも知れませんが、例えば丹工さんの、丹後ちりめんがそれに関係するのかどうか、ちょっと管轄が違うか分かりませんが、いろんな場所がありますので、一緒に連携して文化財を提案していく、全国に発信していくというような手法をもっと取り入れていただきたいなという感じがしております。以上です。

〈松本明彦教育長〉

ありがとうございます。なかなかそこについては不十分かも知れませんが、今行っている観光との連携について御紹介ください。

〈村田雅之文化財保存活用課長〉

観光との面で言いますと、昨年から引き続きやっているということではあるんですが、網野銚子山古墳のオープンに伴って、丹後は非常に古墳も多いですし、京丹後市に日本海側で最大の古墳が2つもあって、隣町にも大きくあるということもあって、観光面で古墳のツアーというのを観光公社のほうで企画をいくつかしていただいております。

そういった、去年からの引き続きのことではあるんですけども、まずは銚子山古墳のことに絡めて1つは観光とリンクしているというのはあります。

あとは、まだいくつかそういったお話なんかはあったりしますが、とりあえず令和7年度は網野銚子山をメインでやっております。また8年度は、例えば丹後震災記念館に絡めたことですか、非常に出てきます。観光の部署とも情報共有はしておるところではありますけども、より一層、そのところを丁寧にさせていただきたいなと思います。

〈松本明彦教育長〉

それから市民遺産も、どれぐらい広がってきたか、少し説明をお願いします。

〈村田雅之文化財保存活用課長〉

市民遺産制度というのを令和5年度の後半からスタートさせまして、令和6年の4月から、地域にこんないいものがあるよっていうようなものを市民のほうから提案していただく制度を、今も引き続きやっておりますけども、現在で認定は5件でございます。

久美浜一区の秋祭りや、弥栄の古文書ですとか、あまり人に知られていないようなものも含めて、地域の中で大切にされているものを後世に引き継いでいくということでしていただいております。

まだその認定に至っていないものも含めて、10件ほど相談をいただいておりますけども、これからも市民遺産をどんどん認定させていただいて、場合によっては、地域にこんながありますよっていうお話もさせていただきながら、是非出していただこうというふうに思っています。

これも観光と直結はしないかも知れませんが、市民の中で広く歴史・文化に触れるという意味では、非常によい制度ではあると思っておりますので、これもどんどんやっていきたいと思っております。

〈松本明彦教育長〉

ありがとうございます。震災からの100年っていうことも令和9年3月にやってきますので、そうしたところもきっかけにしながら、今職務代理の御指摘のように、より観光の視点とか各課との連携というところについても、今後の課題として取組を進めていきたいというふうに思います。ありがとうございます。

そのほか何かございませんでしょうか。

〈田村浩章委員〉

先ほど村田課長からありました部分ですけれども、生涯にわたる豊かな学びとか、歴史・文化とか郷土愛の部分なんですけれども、文化財ライブラリーとか非常に充実しているし、今年度に関しては銚子山古墳のこととかで、非常に充実した活動をされているというふうに思うんですけれども、去年もそうだったんですけれども、ずっと「▲」、だめというか遅れているというような評価になっているんですけれども、次長のほうからも説明がありましたが、その指標、目標の設定を、もう1回考えるっていうふうに、私もそのとおりに思います。

嫌な言い方をしたら、達成しなくてもいいんじゃないかというようなとらえ方も、次年度にもっていけばそれでよいというようなとらえ方もできるので、長期的目標としてはもちろんあるけれども、だったら単年度としてどういうことができるのかというような細かな目標設定っていうことを、澤先生も最後のところに書いておられますし、竺沙先生も真ん中のところで書いておられますので、そのところを注意して、目標達成というところをみんなで取り組んでいけるような評価っていうのが必要になってくるんじゃないかなというふうに感じます。

〈松本明彦教育長〉

ありがとうございます。数値目標だけに振り回されるのはなかなか難しいですけれども、

根拠を持ちながらどういう評価が望ましいのかっていうところは、新たな教育振興計画も立ったところで大括りなものにしていますから、先ほど次長も言いましたように、これからの大きな教育委員会の目標設定とその評価というところは課題だというふうに思っていますので、丁寧に進めさせていただきたいと思います。

そのほか何かございませんでしょうか。

〈松本明彦教育長〉

それではお諮りします。

議案第50号「令和6年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について」につきまして、承認に御異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈松本明彦教育長〉

異議なしと認め、承認いたします。

〈松本明彦教育長〉

次に、議案第51号「京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について」を議題とします。事務局から提案理由の説明をお願いします。

〈上羽正行理事兼学校教育課長〉

議案第51号でございます。

今回の改正は、現在、本市が使用している基幹業務システムNewTRY-X／Ⅱが、令和7年11月25日から国のシステム標準化に準拠したNewTRY-X／Ⅳへ移行することとなりました。これに伴いましてシステムから出力可能な書類の範囲が拡大します。新たに電子公印を用いた通知の対象書類が増加しますので、この運用に合わせて所要の改正を行おうとするものでございます。

それでは、新旧対照表を御覧ください。

まず、別表第3の教育委員会印の使用区分に「学齢簿事務」の「区域外就学協議書」を追加します。

次に京丹後市教育委員会教育長印の使用区分に、「就学援助事務」の「支給停止通知書」、「認定取消通知書」、「審査保留通知書」、「認定通知書」、「否認定通知書」、「認定取消通知書」、

「支給通知書」、また「医療券」の（医科用・歯科用・調剤用）を追加します。

次に、「学齢簿事務」の、「異動通知書」、「就学校変更許可通知書」、「区域外就学協議書」、「区域外就学許可通知書」、「区域外就学承諾書」を追加します。

さらに、就学时健康診断関係書類として、「健康診断通知書」、「健康診断結果通知書」を追加します。

併せまして「京丹後市教育委員会教育長職務代理者印」についても「京丹後市教育委員会教育長印」と同様の追加を行います。

附則として施行日を令和7年11月25日としております。

よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

〈松本明彦教育長〉

議案第51号を説明させていただきました。

御質問、御意見等がございましたらお願いします。

〈全委員〉

なし。

〈松本明彦教育長〉

それではお諮りします。

議案第51号「京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について」につきまして、承認に御異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈松本明彦教育長〉

異議なしと認め、承認いたします。

〈松本明彦教育長〉

次に、議案第52号「まるっぽ間人か〜にバルに係る後援について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

〈川村義輝教育次長〉

議案第５２号でございます。

本事業は、間人ガニやこっぺがにを中心とした食と音楽のイベントをすることで、地域の海産物をＰＲする機会とし、併せて地域の新規関係人口の創出や活性化につなげることを目的に実施するものです。

内容は、魚介の浜焼き、カニ汁など、御当地グルメの提供やキッチンカーの誘致、米軍ジャズバンドによるライブの開催、底曳網漁船の大漁旗の展示に加え、市の海業水産課が連携・協力し、海の生き物との触れ合いや環境問題・海の食と健康に関わるワークショップの実施など、地域内外の来場者が楽しみ、学ぶことができる「食」と「音楽」との「体験」イベントです。

開催日時は、１１月２３日日曜日、午前１０時３０分から午後４時までで、開催場所は、丹後地域公民館及び周辺で実施されます。参加者は１，０００人を予定しており、入場料は無料です。

主催者は、まるっぽ間人プロジェクト。申請者は、まるっぽ間人プロジェクト代表 中里佳史氏です。

本事業が、広く市民福祉の向上に寄与すると認められることから後援承認するものです。

よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

〈松本明彦教育長〉

議案第５２号を説明させていただきました。

御質問、御意見等がございましたらお願いします。

〈全委員〉

なし。

〈松本明彦教育長〉

それではお諮りします。

議案第５２号「まるっぽ間人か〜にバルに係る後援について」につきまして、承認に御異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈松本明彦教育長〉

異議なしと認め、承認いたします。

〈松本明彦教育長〉

次に、会議の非公開についてお諮りします。

報告第19号は京丹後市教育委員会会議規則第16条第1項第2号の規定により、非公開としてよろしいでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈松本明彦教育長〉

異議なしということで全員の賛同を得ましたので、報告第19号については非公開といたします。

これより会議を非公開とします。

(非公開部分省略 報告第 19 号について報告)

〈松本明彦教育長〉

これより会議を公開いたします。

〈松本明彦教育長〉

次に、本日は追加議案 1 件を準備しています。

それでは、議案第 53 号「しゃつてもフェスタ in たんごに係る後援について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

〈川村義輝教育次長〉

議案第 53 号でございます。

本事業は、地域住民の方々、地元企業、学校関係、行政関係、施設利用者本人や家族等、多くの方に御来場いただくことで新たな交流が生まれ、障害のある人たちが地域の中でともに生活していることを知っていただくことを目的として開催されるものです。

内容は、ステージ企画や作業所紹介、作品展示や各作業体験が実施されます。

開催日時は、令和 7 年 12 月 6 日土曜日、午前 9 時 30 分から正午までで、会場は丹波体

育館で開催されます。参加者は60人を予定しており、参加は無料です。

主催者は社会福祉法人よさのうみ福祉会、申請者は社会福祉法人よさのうみ福祉会理事長青木一博氏です。

本事業は、広く市民福祉の向上に寄与すると認められることから後援承認するものです。
よろしく御審議いただきますようお願い申し上げます。

〈松本明彦教育長〉

議案第53号を説明させていただきました。
御質問、御意見等がございましたらお願いします。

〈全委員〉

なし。

〈松本明彦教育長〉

それではお諮りします。

議案第53号「しゃっでもフェスタ in たんごに係る後援について」につきまして、承認に御異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈松本明彦教育長〉

異議なしと認め、承認いたします。

〈松本明彦教育長〉

以上で本日の議事は全て終了させていただきました。
続いて、4のその他ということで、諸報告、各課報告を順次いたします。

〈川村義輝教育次長〉

最初に、諸報告①「共催」「後援」に係る10月期承認につきまして、京丹後市教育委員会「共催・後援」申請に係る承認報告書を御覧ください。

御覧のとおり今回は共催案件が1件、後援案件6件となっています。以上です。

〈上羽正行理事兼学校教育課長〉

続きまして、11月の学校行事の予定についてお知らせします。

11月に入りましてスポーツの秋、文化の秋ということで、関連事業がたくさん予定されております。

まず、既に昨日実施でしたが、はごろも陸上競技の場で、北丹陸協の記録会ということで開催があり中学生たちが参加をさせていただきました。

それから8日の土曜日、各校におきまして学習発表会等が開催され、また中学校におきましては府の駅伝参加ということが予定をされております。

翌週15日の土曜日には、各校で音楽発表会等が予定をされておりますとともに、丹後大学駅伝も15日に実施をされるというような予定になっております。

18日の火曜日には丸ごと京丹後食育の日ということで開催がございますので、お世話になります。よろしくお願いいたします。

続きまして、19日の水曜日からは中学校におきましては期末テストがいよいよ始まってくるということでございます。

22日の土曜日には、大宮中学校におきましてPTAの防災セミナーでありますとか、大宮のこども園では保護者行事が予定をされております。

翌週の27日の木曜日でございますけれども、保幼小中一貫教育の授業研究会が大宮学園で開催の予定をされております。

最終日30日には峰山小学校で授業参観、また近畿駅伝が予定をされております。

以上のような行事予定になっておりますのでお知らせをいたします。

〈松本優生涯学習課長〉

続きまして、生涯学習課が所管しております11月の行事予定について御紹介をさせていただきます。

まず11月の1日から3日にかけて、各町域で文化祭ということで開催されております。

各町域で作品展示会等を開催されております。

昨日3日の月曜日ですが、第36回網野町ふれあいコンサートということで、アミティ丹後で開催をされました。

同じく昨日、弥栄町文化祭駅伝ということで予定されておりましたが、クマ被害が弥栄町外村であったため、これにつきましては中止ということになっております。

4日火曜日今朝ですが、弥栄中学校のほうで青少年健全育成会主催のあいさつ運動を実施しました。教育長と教育次長が、参加をしております。

9日の日曜日ですが、網野文化祭『フェスティバル・オン・ステージ』ということで、アミティ丹後のほうで開催予定となっております。

同じく9日の日曜日です。KYOTO TANGO QUEENSサッカークリニック&J1京都サンガFC観戦バスツアー2025ということで、京セラスタジアム、サンガスタジアムで開催をされます。

15日の土曜日です。関西学生対校駅伝競走大会丹後大学駅伝ということで、はごろも陸上競技場をメイン会場として開催をされます。

同じく15日の土曜日です。令和7年度青少年野球教室ということで、峰山総合公園、京丹後夢球場をメイン会場として開催をされます。

18日火曜日です。令和7年度京丹後市PTA協議会研究大会がアグリセンター大宮で開催をされます。

21から23日にかけては、丹後美術工芸展ということで、網野体育センターで開催をされる予定となっております。

20日土曜日につきましては、京丹後アートフェスティバル2025の関連事業「上前智祐」展ということで、講演会とバスツアーを開催することになっております。京丹後市から舞鶴市にかけて上前智祐にゆかりのある土地を巡るバスツアーということで企画をされております。

23日の日曜日です。第59回の久美浜湾一周駅伝が予定をされております。

同日23日、先ほど御承認いただきました、まるっぽ間人か〜にバルが、丹後地域公民館周辺ということで開催をされます。

翌日24日月曜日、野村克也講演会ということで、アミティ丹後で開催をされます。

そのほか、御覧のような予定行事となっておりますので、お目通しいただければと思います。以上でございます。

<西村隆教育総務課長>

こども未来課から、こども園関係の行事予定を資料としていただいています。主なものとしては、入園児説明が共通であるということです。その他行事が各こども園・保育所等で予定されているということです。以上でございます。

<松本明彦教育長>

全体を通して何か御質問等がございましたらお願いします。

<田村浩章委員>

先ほど松本生涯学習課長の方からもちらっとありましたけれども、クマについてです。

子どもたちの登下校や、秋、学校の外に出るような行事等々も予定されていますけれども、何かそこら辺について、新たな取組等をお考えなのかどうか、質問させていただきます。

〈松本明彦教育長〉

どうでしょう。今回の対応と今後について少し検討している内容があれば。

〈上羽正行理事兼学校教育課長〉

御質問ありがとうございます。

ニュースのほうにも出ておりましたけれども、一昨日の日曜日には怪我をされたような事例も発生したということで、全市的に情報共有を図りながら、いち早く、各校長のほうにはお知らせもしながら、登下校の見守り強化というようなところはお願いをしておるようなところでございます。

発生しました近隣の学校につきましては、親御さんによる送迎でありますとか、にこにこカーによる見守り強化等もしていただいておりますというようなところでございます。

そういった取組をしながら、クマ情報等の全市的な共有もよりスピーディーに行っていくということでございますし、基本的には子どもたちへの注意喚起であるということと、それから教職員、地域の方々の見守りを強めていく。

それから今日はしんさんのほうでもまた目撃情報があったというようなことでございまして、私も現場の確認に行きましたけれども、パトカーも常時巡回しながら、子どもたちの通学時間を重点的に警ら強化していただいておりますというところで、やはりこれまでからももちろんしておりますけれども、各関係機関と情報連携を密にしながら、子どもたちの見守りを強化していくと、そういったことを進めていきたいというふうに思っております。

〈松本明彦教育長〉

すぐに子どもたちに直接の対応っていうのがなかなか難しいとこでありますけれども、こういう状況にもなっているので、スピーディーに検討していきたいと思っております。

そのほか、全体を通して何かございませんか。

〈松本明彦教育長〉

ないようでしたら、以上で第14回京丹後市教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでございました。

〈閉会 午前10時35分〉

〔 12月定例会 令和7年12月1日（月） 午前9時30分から 〕